

一般国道4号 やぶきかがみいし 矢吹鏡石道路 説明資料

国土交通省 東北地方整備局

一般国道4号 矢吹鏡石道路に係る新規事業採択時評価

- ・矢吹鏡石道路の整備により、交通容量を確保し、幹線道路としての速達性を向上
- ・交通混雑の解消により、渋滞に起因する交通事故が減少し、幹線道路としての安全性を向上
- ・ボトルネックや交通混雑の解消により、物流効率化が図られ医療関連産業の活性化を支援

1. 事業概要

- ・起 終 点: 福島県西白河郡矢吹町北浦 ~ 福島県岩瀬郡鏡石町久来石
- ・延長等: 4.8km (第3種第1級、4車線、設計速度80km/h)
- ・全体事業費: 約150億円
- ・計画交通量: 約28,500台/日

乗用車類	小型貨物	普通貨物
約13,500台/日	約3,800台/日	約11,200台/日

2. 課題

① 2車線区間で交通混雑が発生

・2車線に1日約2万台の交通が集中し、東北の国道4号2車線区間で最も遅い旅行速度を示しており、矢吹町中心部付近では、20km/h以下の慢性的な速度低下が発生。(図3、図5)

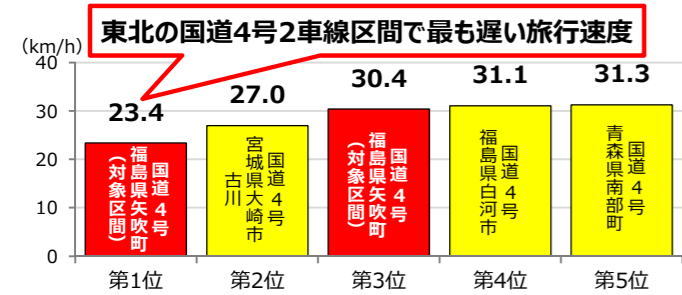


図3 旅行速度ワースト5位

② 交通事故の多発箇所が存在

・当該区間内で事故が多く発生しており、死傷事故率が高い交差点で平均の約4倍となっている。
・交通混雑により加減速機会が多いことから、渋滞に起因した追突事故が多発している。

(図4、図5)

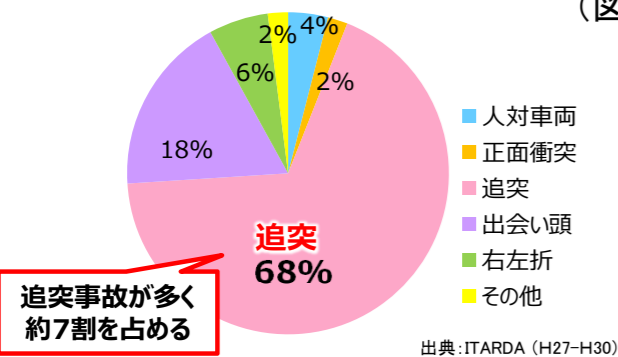


図4 事故類型の特徴

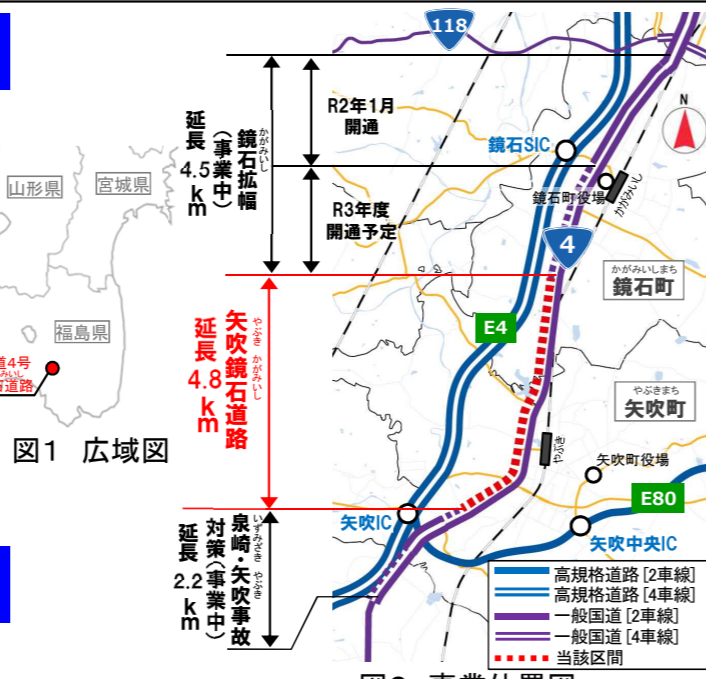
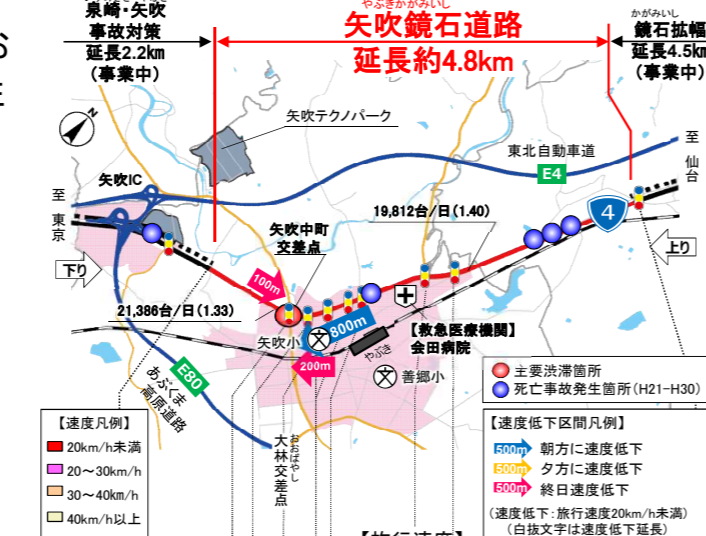


図2 事業位置図



【旅行速度】

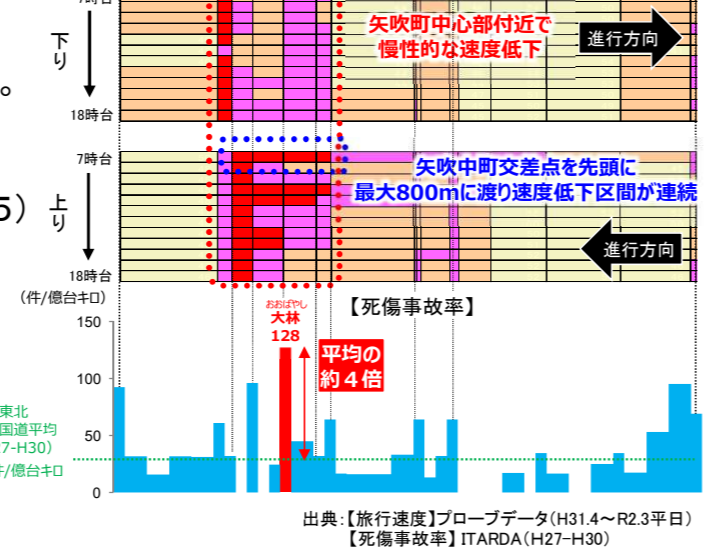


図5 当該区間の旅行速度と死傷事故率

③ 東北復興の阻害要因となる物流のボトルネック

- ・福島県は復興計画の重点施策として医療関連産業の集積を図っており、県の医療機器受託生産金額は平成22年以降約2倍以上に増加。(図6、図7)
- ・医療機器部品や原材料などの物流ルートとして利用される当該区間は、4車線区間に比べアクセス性・定時性に劣り、ボトルネックとなっている。(図6、8)

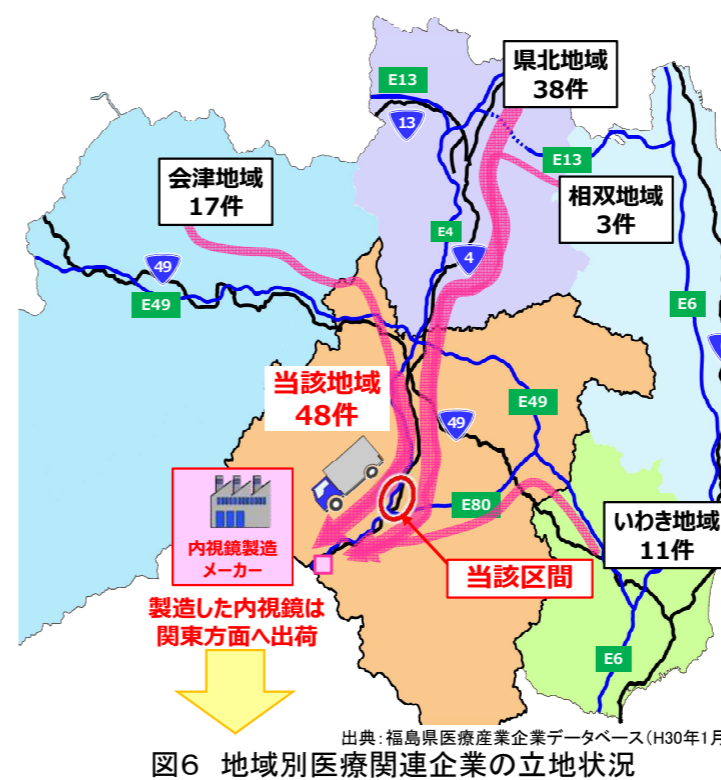


図6 地域別医療関連企業の立地状況

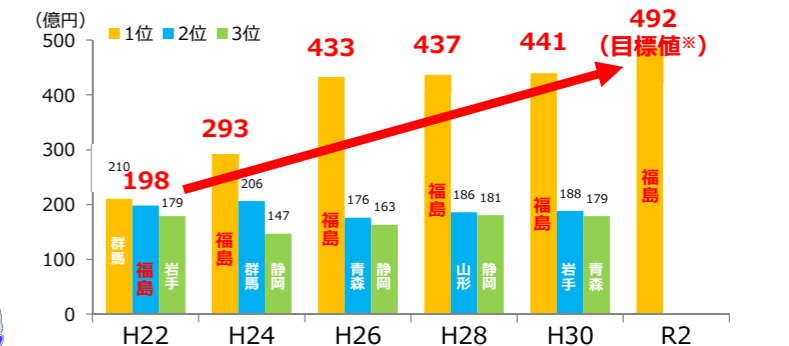


図7 医療機器受託生産金額の推移(上位3県)

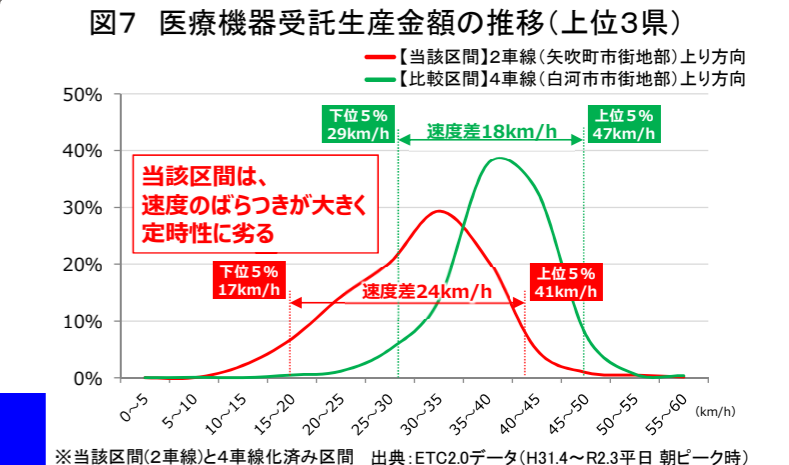


図8 速度分布比較

3. 整備効果

効果1 幹線道路の速達性向上 [◎]

- ・交通容量が確保され、速達性が向上。
 - 混雑度 【現況】1.40 ⇒ 【整備後】0.71 (約5割減少)
 - 旅行速度 【現況】23km/h ⇒ 【整備後】41km/h (約2倍に向上)

効果2 幹線道路の安全性向上 [◎]

- ・交通混雑の解消により、交通事故が減少。
 - 交通事故件数 【現況】53件/4年 ⇒ 【整備後】12件/4年 (約8割減少)

効果3 物流を支える道路ネットワークの強化 [◎]

- ・物流の効率化が図られ医療関連産業の活性化を支援。
 - 当該区間の所要時間 【現況】約11分 ⇒ 【整備後】約7分 (約4分短縮)

費用便益分析結果(貨幣換算可能な効果のみを金銭化し、費用と比較したもの)

B/C	EIRR※1	総費用	総便益
1.7	7.0%	104億円※2	180億円※2

※1: EIRR: 経済的內部収益率 ※2: 基準年(R2年)における現在価値を記載(現在価値算出のための社会的割引率: 4%)

一般国道4号 矢吹鏡石道路に係る新規事業採択時評価

